

この世における人間の社会には深い闇が広がっています。その原因は、生まれながらの人間は、罪過と罪との中に死んだ者となっているからです。「死んだ者」とは真のいのちの源である神から離れた状態で、肉体は生きていても霊的には死んでいて、永遠の滅びに向かっているのです。そして罪に支配され、肉の欲にかられて神の怒りを受けるべき存在になっているのです。そればかりでなく、その背後で「空中の権威を持つ支配者」であるサタンの働きによって罪に誘われ、様々な不幸が生み出されています。

しかし、あわれみ豊かな神は、そんな私たちを罰することを望まずに、赦すことを願い、ひとり子イエス・キリストをこの世に遣わし、私たちに代わりに十字架の死に引き渡し、私たちに罪の赦しをもたらしてくださいました。私たちの罪が赦されたという時、それは単に罪が水に流されたのではなく、キリストが代わりに罪の呪いを受け、死んでくださって私たちのすべての罪を贖ってくださったのです。その罪の赦しは、過去・現在・未来にわたる全ての罪の赦しを約束する大きな恵みです。それは十字架で死に、三日目によみがえられた救い主キリストによって成し遂げられたのです。それは、私たちが愛されるにふさわしかったからでも、私たちが善行によって獲得したものでもなく、一方的な神のあわれみによることです。神からの賜物・プレゼントです。私たちはこの恵みの大きさに心から感謝すべきです。

しかし、主キリストにある救いの恵みは、単に罪が赦されることで終わるものではありません。その罪赦された者は、神の作品として、良い行いに歩むよう、その良い行いをもあらかじめ備えてくださるのです。

私の牧会している教会のメンバーに ALS（筋萎縮性側索硬化症）の方がおられます。ALS とは、身体全体の筋力が衰えてしまう病気です。クリスチャンの友人が、その方を訪問してほしいと私に手紙をくださったのをきっかけに聖書のみことばと祈りによる交わりを続け、ついに信仰を告白して受洗に導かれました。今はもう全く身体は動かせず、食べることも、しゃべることも出来ません。瞬きさえ弱々しくなっていました。ところがその方は、天国について書かれた聖書のみ言葉を涙を流して聞いてくださいます。何の喜びも楽しみも見出せないような現実の中であって、キリストにある平安と希望を味わっているのです。神がキリストにあって私たちに与えてくださった「良い行い」とは、こんなにも尊く価値ある務めなのです。

それぞれにイエス・キリストにあって罪の赦しをいただき、サタンの奴隷ではなく、神の子ども・神の作品として、周囲の人々に神の愛と祝福をもたらす歩みをして参りましょう。

